

令和7年度 宮崎小学校 学校評価アンケート結果

- 学校教育目標 「自主的な子ども 思いやりのある子ども 健康な子ども」
- 重点目標スローガン 「自分 友だち 宮崎 大好き たからもの」
- 重点目標を具現化する4つの柱
 I. 「学び続ける学校」 II. 「支え合う学校」 III. 「安心・安全な学校」 IV. 「地域とともに歩む学校」

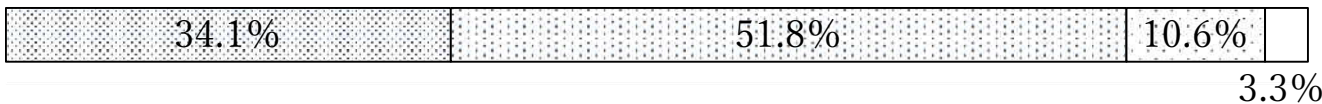
I. 「学び続ける学校」についてのアンケート結果

① 一人一人が学ぶ楽しさを実感し、主体的に取り組む授業の実現

(児童アンケート)

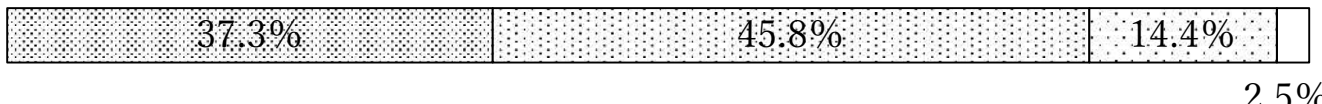
1. 学習はたのしいですか

とてもたのしい たのしい あまりたのしくない たのしくない



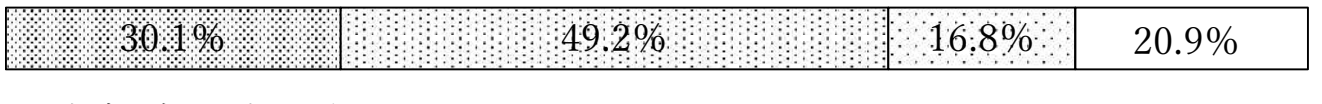
2. 学習はわかりますか

よくわかる わかる すこしわからない わからない



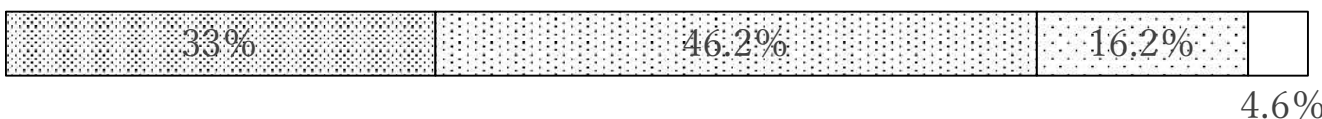
3. 学習の中で、考えることはたのしいですか

とてもたのしい たのしい あまりたのしくない たのしくない



4. 友達に自分の考えを伝えることはたのしいですか

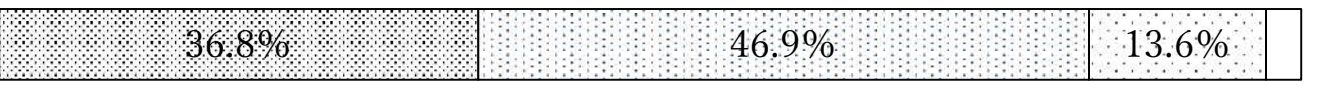
とてもたのしい たのしい あまりたのしくない たのしくない



(保護者アンケート)

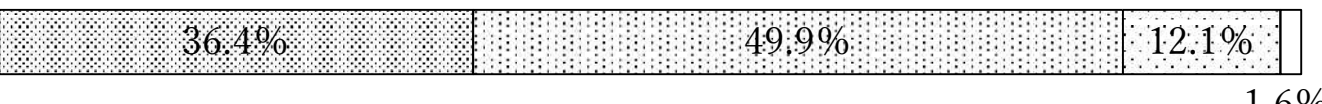
1. お子さんは、日々の授業を楽しんでいると感じていますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



2. お子さんは、授業で学んだ内容に満足している（学んでよかった）と感じている様子ですか

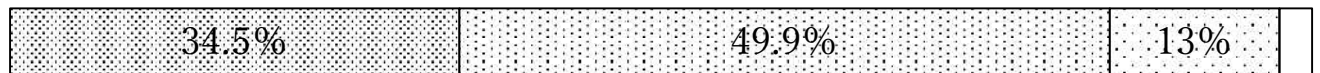
そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



1.6%

3. お子さんは日々の授業を「わかる」と感じていますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



2.5%

4. お子さんは、授業の中で自分の考えや意見を友達に伝えることを楽しんでい
る様子ですか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



5.5%

研究テーマ「楽しいまなびや」のもと、各学年で算数を中心に「学ぶ楽しさ」を定義し、児童が主体的に思考を深める授業実践を推進しました。低学年では「できた・わかった・なるほどね」という納得感と「もっとやりたい」という意欲を、中学年では友達のを聞き、自分の考えを再考する「みんなで考える楽しさ」を大切にしました。高学年ではクラス全体で一つの課題に向き合い、友達の様々な考えを検討し試行錯誤して答えに辿り着く楽しさを大切にしました。学年に応じた「楽しさ」を設定したことで、児童一人一人が自分なりの喜びを見つけながら学習に取り組むことができました。また、「友達の考えを聴き、自分の考えを更新する」という対話が少しずつ定着していることがアンケート結果からわかります。算数で培った「思考を愉しむ姿勢」を他教科でも更に波及させていきたいと思ひます。

② 児童が主役の学校づくり

(児童アンケート)

5. 係活動、実行委員、委員会活動、クラブ活動では、自分たちの願いや考えが
いかされながら、活動が進められていると思ひますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



2.1%

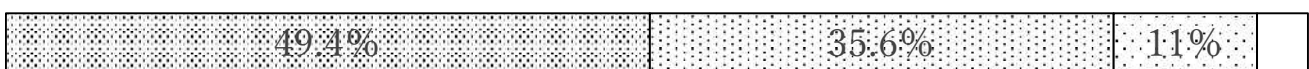
ダンスや和太鼓、演劇などの発表、あいさつ運動や赤い羽根募金、集会イベントの企画など、児童の創意工夫をいかした活動や毎日の学校生活に役立つ活動に児童が積極的に取り組むことを大切にしてきました。毎月一度の「宮っ子朝会」は、児童の多様な活動を全校に共有することで、自分たちの手で学校生活をより楽しく豊かに創り上げていこうとする意欲を育む場となっています。

③ GIGA スクール構想への取組の推進

(児童アンケート)

6. パソコンを使うことで、授業がわかりやすくなったり、考えを伝えやすくな
ったりしましたか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない

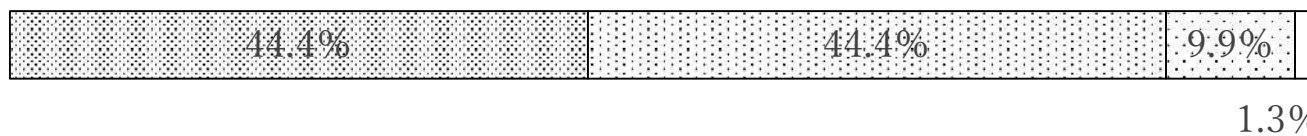


3.9%

(保護者アンケート)

5. 授業でのパソコン利用は、子どもたちの学習に役立っている（または、プラスになっている）と思いますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



一人一台端末を単なる検索道具に留めず、自分の考えを整理したり、友達と考えを共有したりするための「文房具」としての活用を推進しています。友達の考えを自分の端末でじっくり見比べることで、「自分との違い」や「友達の考えの良さ」に気づくことができます。「自分の考えを伝える道具」として端末を活用することを引き続き促すとともに、児童が「自分に合った方法で学ぶ」といった主体的な学びにつながる活用を模索していきます。

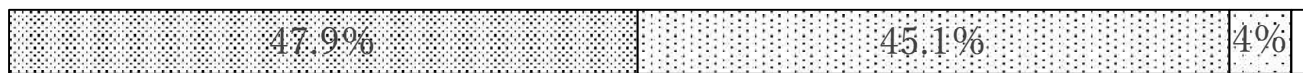
Ⅱ. 支え合う学校についてのアンケート結果

① 他者理解を深め、多様性を認め受け入れる児童の心の育成

(児童アンケート)

1. 自分のことも友達のことも大切にしながら過ごすことができましたか

いつもできた できた あまりできなかった できなかった



2. 友達のよさを見つけることができましたか

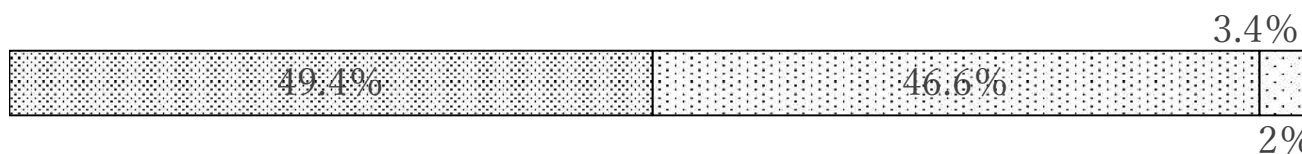
たくさん見つけることができた
 少し見つけることができた
 あまり見つけることができなかった
 見つけることができなかった



(保護者アンケート)

1. お子さんは、友達との関わりの中で、互いの違いを理解し、尊重する姿勢を身につけていると思いますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



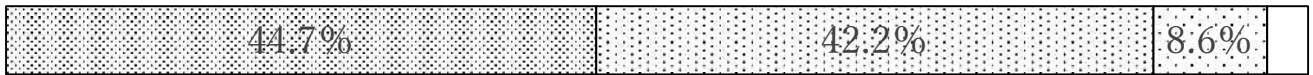
「自分も友達も大切に（たからもの）」意識を育むため、学年を超えた交流や表現の場を設定し、互いの良さを認め合う活動を推進しました。音楽の発表会などを開催し、自分たちとは異なる学年の表現や頑張りに触れることで、「すごいな」「素敵だな」と認め合う心が育まれています。また、6年生は1年生との交流を通して、学校生活のポイントを伝える取組を行ったり、5年生は育てた野菜を給食の食材として活用する取組を行ったりしました。高学年が自分たちのために動いてくれる姿や学校全体を支えてくれている姿が、低学年の心に憧れや感謝の気持ちを育んでいます。また、「かわさき共生*共育プログラム」の実践や道徳の授業を通して、一人一人の違いを認め、それを強みとしてとらえる意識付けも繰り返し行っています。

② 児童が安心して過ごせる学校

(児童アンケート)

3. 困ったことがあった時には、先生や友達に相談して、安心して過ごすことができましたか

- 相談することで、安心して過ごせた
- 時々、相談することで、少し安心して過ごせた
- あまり相談することができず、安心して過ごせなかった
- 誰にも相談できず、安心して過ごせなかった



2%

4. 学校のルールを守って生活することができましたか

- いつも学校のルールを守って過ごすことができた
- ほぼ学校のルールを守って過ごすことができた
- あまり学校のルールを守って過ごすことができなかった
- 学校のルールを守って過ごすことができなかった



0.9%

5. 宮っ子として、友達や先生、地域の方などに、すすんであいさつをすることができましたか

- いつもできた
- できた
- あまりできなかった
- できなかった



2%

6. パソコンを使うときには「正しい使い方」を理解して、約束を守って安全に使うことができましたか

- いつも約束を守って、安全に使うことができた
- ほぼ約束を守って、安全に使うことができた
- あまり約束を守れず、安全に使うことができなかった
- 約束を守れず、安全に使うことができなかった

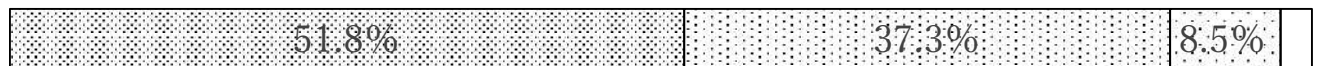


0.9%

(保護者アンケート)

2. お子さんは、学校（または、教室）を安心できる居場所として感じ、落ち着いて通っている様子ですか

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



2.4%

3. お子さんは、困ったことや不安なことがあった時、先生や家族、身近な人に相談して、安心して過ごすことができていると思いますか

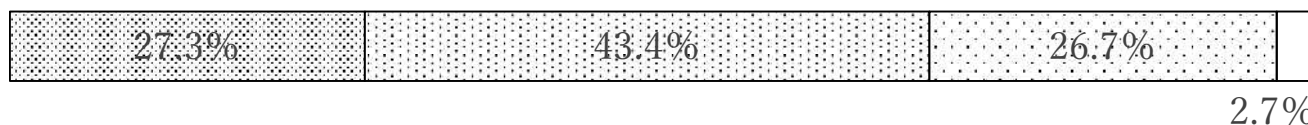
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



1%

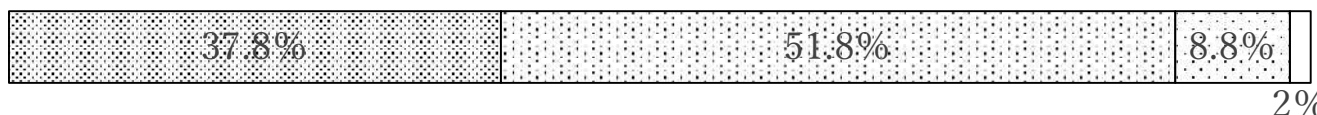
4. お子さんは、友達や先生、地域の方などに対し、自分から（積極的に）あいさつすることができていると思いますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



5. 学校のルールやきまり（よくわかる宮崎小学校）は、明確で内容が理解しやすいと感じますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



6. お子さんは、インターネットなどで情報を見る際に、それが正しい情報か、悪影響がないか注意深く見極める力がみついていると思いますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



各学級担任がUD（ユニバーサルデザイン）の視点を取り入れた教室環境づくり（掲示物の精査や視覚的なわかりやすさ等）に努めています。これにより、どの児童にとっても教室が落ち着いて安心して過ごせる場となっています。また、今年度より児童指導担当を中心に学校のルールやきまり「よくわかる宮崎小学校」を再確認し、全校で規範意識の醸成を図りました。また、トラブルへの迅速な対応や学年の実態に応じたきめ細やかな見守りができるように、各学年に「学年児童指導担当」を設けました。支援教育コーディネーターや養護教諭、個別学習担当教員、学校巡回カウンセラー等が連携したこれまでの支援体制に、新たな組織的な児童指導体制が加わったことは、児童の安心感を支える大きな要因になっていると考えています。

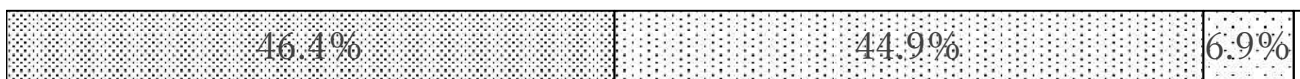
Ⅲ. 安心・安全な学校について

① 防災・防犯・緊急対応等の安全教育の充実

（児童アンケート）

1. 自分のまわりの人の安全を守るように、自分で考えて行動することができましたか

- いつも自分で考えて、行動することができた
 自分で考えて行動することも、時々あった
 自分で考えて行動することは、あまりできなかった
 自分で考えて行動することは、できなかった



（保護者アンケート）

1.1%

1. 学校が実施する防災・安全対策（避難訓練、通学路点検、地域連携など）について、学校が安全・防災の意識をもって取り組んでいる様子が見られますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



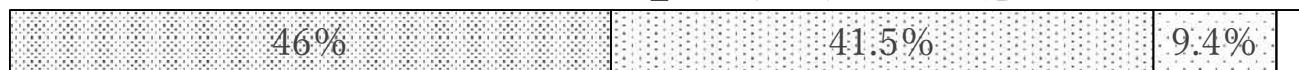
0.7%

保護者、地域の方々の見守りや、生活安全・交通安全に関する情報提供により、今年度も児童が安全に登下校することができました。PTAの皆様には、旗振り活動や通学路の安全点検等に多大なご協力をいただきました。また、運動会当日の校内巡回、水泳指導の見守り等、ボランティアを募りながらお手伝いをいただきました。さらに防災備蓄品の補充にもご尽力いただいております。こうした支援によって、今年度も児童が毎日の学校生活を安心、安全に送ることができました。学校では、避難訓練や交通安全教室、不審者対応訓練を計画的に実施し、様々な場面における危険や安全な行動の仕方についての理解を図ってきました。また、児童の登下校で課題がみられた場合は、どのような危険があるか、どのような安全行動が大切なのかを児童に考えさせる指導を行ってきました。スマートフォンやSNSの適切な利用の仕方については、保護者の皆様や外部機関と協力、連携して情報モラル教育の充実を図り、情報活用におけるトラブル防止と、相手の立場に立って考える力の育成に努めていきます。

② 健康教育・食育の充実

(児童アンケート)

2. 自分の健康や食生活について振り返り、よりよくしていこうと努力しましたか
- いつも気にかけて過ごしていた
 - 時々気にかけて過ごしていた
 - あまり気かけずに過ごしていた
 - 全く気にかけることなく過ごしていた



(保護者アンケート)

2. 学校教育活動（健康教育、食育、各種情報提供）を通じて、子ども自身が自分の心と体を大切に、家庭でも健全な食生活や安全に生活を送ろうとする意識が高まったと感じますか

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



特別活動の時間に「性に関する教育」や「命の安全教育」を実施し、自分や相手の体、プライベートゾーンを尊重する学びを深めました。授業の内容や児童の反応を「保健だより」で紹介し、学校と家庭で健康に対する意識を高める働きかけを行いました。また、食育の授業も特別活動の時間に実施し、児童が自ら健全な食生活にかんしんをもてるよう働きかけました。授業の様子を「給食だより」で発信するとともに、学校ホームページで給食の献立やレシピを公開する取組を行いました。今後は、学校で学んだ健康や食に関する知識が、日常生活での「望ましい生活習慣の定着」という行動変容に繋がるよう、継続的な授業実践と啓発活動に取り組んでいきたいと思っております。

IV. 地域とともに歩む学校について

○ 地域とのかかわりを大切にした教育活動の充実

(児童アンケート)

1. 地域の方と学習する時は、交流を大切にしながら、活動することができましたか

- いつも自分からすすんで関わることができた
- 自分からすすんで関わることは、あまりできなかった
- 自分から関わることは、ほとんどできなかった
- 自分から関わることは、できなかった



2. 学習を通して、宮崎の町のよさに気づくことができましたか

- 宮崎の町のよさや素敵などころにたくさん気づいた
- 宮崎の町のよさや素敵などころに少し気づいた
- 宮崎の町のよさや素敵などころに、あまり気づけなかった
- 宮崎の町のよさや素敵などころに、気づけなかった



2.3%

(保護者アンケート)

1. 地域の方と学習する時は、交流を大切にしながら、活動することができますか

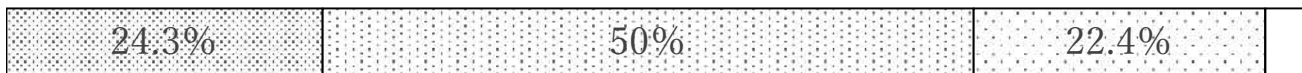
- たか そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



1.3%

2. 学習を通して、宮崎の町のよさに気づくことができましたか

- そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない



3.3%

各学年の学習内容に合わせて、地域の方々とお会いする機会を設定しました。低学年の生活科では、町の施設や店舗を見学させていただきました。総合的な学習の時間では、3年生は町のために活躍する人たちのお話を、4年生は社会福祉に関わるの方々のお話を伺いました。5年生は育てた野菜を地域の施設で食材として活用していただいたり、社会福祉協議会の方々と学校花壇の花植えを行ったりしました。キャリア教育として、6年生は保護者の方々から様々な職業についてお話を伺いました。また、クラブ活動では、生け花や和太鼓を教えて頂いています。地域の方々とのこうした関りを通して、児童は、自分の周りには地域のために活躍する温かな人々が多く存在していることを知ったり、改めて地域のよさに気付いたりすることができました。

本年度も、本校の教育活動への温かいご理解と多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今回のアンケート結果から、本校の重点目標である「自分・友だち・宮崎 だいすき たからもの」に向けた今年度の取組の成果と課題を捉えることができました。この結果をもとに、次年度の教育活動を考えてまいります。

宮崎小学校は、今後も児童一人一人が主体的に学び、安心して自分らしさを発揮できるよう、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。本年度、様々なかたちで児童を支えていただきました全ての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。